保険者国保事業紹介

「誰もが安心して暮らせるまちづくり」

住み続けたいみどりと歴史のまち

――――――　長岡京市

長岡京市では、被保険者の健康の保持・増進はもとより、早期発見、早期治療を目指し、特定健診・特定保健指導や、人間ドック・脳ドック助成事業などの保健事業に積極的に取組んでいます。

また、これらの財源となる国民健康保険料の確実な収納のため、定期的な夜間納付相談をはじめとする収納体制の強化により、保険料を納付しやすい環境づくりに取り組んでいます。

【長岡京市の概要】

長岡京市は、京都府の西南部・乙訓地域の中央に位置し、８世紀には「長岡京」の都が置かれていた歴史あるまちです。

西山竹の子

歴史のロマンが息づく市内には、中心部に住宅、農地及び商業地域があり、西には特産品の「たけのこ」を産出する竹林の丘陵地が広がっています。また、東部は先端技術が集積された工業地域を形成しており、バランスのとれた成熟都市になっています。

その町並みの中に、細川ガラシャの居城のあった勝龍寺城跡をはじめ、霧島つつじの長岡天満宮、牡丹の乙訓寺、紫陽花の楊谷寺、紅葉の光明寺など、数々の文化遺産が点在しています。

楊谷寺紫陽花

２１世紀、新しい時代をひらく長岡京市の目標は「創造と共生で住みつづけたい　長岡京」です。この新しい長岡京の創造という理念を基に、様々な事業を行なっています。

【国保の概要】

国保の加入者の状況は世帯数で１１，０２０世帯、被保険者数は１８，８２６人で、市総人口に対する加入率は２３．６％となっています。被保険者は平成２１年度平均で対前年度比１４９人増加、伸び率は０．８％増、また、被保険者の構成割合は一般被保険者９２．２％、退職被保険者７．８％となっており、平成２０年制度改正以降、退職被保険者の割合が激減しています。

平成２１年度の一人当たり医療費は、一般が前年度比１．６％の増となる一方、退職は４．４％の減となっています。一方、一人当りの保険料調定額は、現年医療分で一般が前年度比２．０％増、退職が１．７％減、全体で１．７％増となりました。現年医療分の収納率は、２０年度の９２．９０％から２１年度は０．４９％減の９２．４１％になっており、収納率向上へ向けての対策が急務となっています。

本市では、平成２１年度に新長岡京市行財政改革大綱（アクションプラン延長版）を策定し、保険料の収納率向上を市の重点課題として位置づけました。

徴収専任職員を配置し、預金・生命保険の調査及び差し押え等による納付指導の強化や、定期的な夜間納付相談窓口の開設、口座振替納付の推進等、収納対策の充実に努め、収納率の低下に歯止めをかけていきたいと考えています。

国保の財政状況は、高齢化の進展や医療の高度化等を要因とした医療費の増高とともに、経済の長期低迷による失業者や所得減少者などの増加により、保険料収入が落ち込み、ますます厳しさを増しているのが現状です。

国保被保険者の動向(年度末集計)

年度	人口(人)	世帯数(世帯)	国保加入状況					
			被保険者数(人)	加入率(%)	加入世帯数(世帯)	被保険者に占める構成		
						若人	退職	老人
19	79,113	32,937	24,137	30.5	13,707	12,186	6,547	5,404
20	79,449	33,462	18,677	23.5	11,129	16,732	1,945	－
21	79,742	33,852	18,826	23.6	11,020	17,352	1,474	－

一人当たり医療費（単位：円）

年度	若人	退職	老人	全体
19	229,855	391,074	937,340	431,982
20	309,990	367,597	－	315,989
21	314,836	351,251	－	317,687

一人当たり保険料額（現年医療分/単位：円、%）

年度	一般	退職	全体	収納率
19	82,026	109,972	89,763	94.45
20	67,907	75,808	68,532	92.90
21	69,265	74,527	69,672	92.41

【保健事業の取り組み】

長岡京市では、「健康日本２１」の基本理念に基づいて、平成２１年３月に「長岡京市第３次保健計画」を策定しました。また平成２０年３月に策定した「長岡京市国民健康保険特定健康診査等実施計画」に伴い、特定健診・特定保健指導を保健事業の中核として、積極的に取組んでいます。

特定健診については、生活習慣病予防だけでなくより広い範囲の疾病予防・発見に対応するため、国基準以外の検査項目も健診内容に追加するとともに、特定保健指導については、保健事業担当課による健康教室の他、医療機関委託により実施機関を広げ、メタボリックシンドローム該当者・予備軍減少目標の達成に向けた事業を展開しています。

また、平成２２年度は、特定健診受診期間を７月中旬から１０月末までの３ヶ月半に延長するとともに、特定保健指導利用開始を１１月に早める事により、利用者の拡大を図っています。

人間ドック・脳ドック助成事業については、９医療機関と契約を結び、費用額の７割上限２万円で助成を行っており、被保険者の健康意識への高まりを背景に、ドック利用者は増加傾向にあります。

長岡京市第３次保健計画でも、一次予防を重視し、自主的な健康づくり活動の普及を推進することを目的として、ライフステージに応じた健康づくりを支援する事業展開を目指しており、本市国保としても保健事業の充実により、市民の健康づくりの支援に努めていきたいと考えています。

特定保健指導の様子

①特定健診

年　度	対象者	受診者	受診率
20	13,384 人	5,924 人	44.26%
21	13,544 人	5,919 人	43.70%

②特定保健指導

年　度		対象者	利用者	利用率
20	動機付け支援	562 人	102 人	18.15%
	積極的支援	137 人	3 人	2.19%
21	動機付け支援	502 人	86 人	17.13%
	積極的支援	122 人	12 人	9.84%

③人間ドック、脳ドック助成事業

年度	人間ドック	脳ドック	合計
20	403 人	158 人	561 人
21	457 人	205 人	662 人

↑八条が池（長岡天満宮）

←八条が池の蓮